

静勝寺報

第46号
新年号
令和8年
1月1日発行
発行静勝寺
編集発行人
高崎忠道

皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

年頭にあたり、

昨秋、大本山總持寺御征忌の焼香師を拝命いたしました。焼香師は本山禪師様に代わり法要の導師を勤めさせていただくお役です。征忌（正忌）は命日のこと。永平寺においては道元禪師（八月二八日）と二祖懷辨禪師（八月二四日）、總持寺においては、瑩山禪師（八月十五日）、二祖峨山禪師（十月二〇日）の法要を毎年（永平寺は九月下旬、總持寺は十月中旬の数日間）行っています。期間中いくつも法要があり、各々焼香師が全国より選ばれます（本年總持寺御征忌は一八八）。私は、十月十三日の御両尊献湯諷經（本山等の大きな法要は、前日の夕方の蜜湯を捧げる献湯諷經、翌日の朝お粥とお湯、お茶を捧げる献粥諷經、お昼にご飯、お湯、お茶、お菓子捧げる献供諷經という一連の法要で成り立つ）の導師を勤め、瑩山禪師様、峨山禪師様に蜜湯を捧げ、法語を唱え、香を焚き、須弥壇に昇ってお拝をさせて頂きました。

法要中は、緊張して頭が真っ白になりましたが、当日ご参列いただいた檀家総代の矢島様ご夫婦はじめお檀家の皆様方、坐禅会、写経会、うたの会の皆様、さらにご随喜いただいた法縁のお寺様方、皆様のお力添えをもつて何とか勤めることができました。ここに感謝申し上げる次第です。

大本山總持寺の広い大祖堂（本堂）で、しかも大勢の僧侶の中、焼香師を勤めさせていただいたことは、大変有り難く感慨深いものがありました。今後、さらにさらに精進して

いかねばと気持ち新たに思った次第です。また、このことがきっかけとなり子息が僧侶になる決心をし、昨年十二月八日に得度（僧名「道将（どうしよう）」、次項参照）しました。只今、山内にて絶賛修行中で春には永平寺へ安居修行に行く予定です。

十二月八日は、お釈迦様がお悟りを開かれた日、成道会です。お釈迦様は、お悟りを開かれた後、その内容を皆に伝えようか大変迷われましたが、伝える決心なされ一步を踏み出されました。この一步があつたからこそ、仏教が生まれ、後世の我々にも伝わっているのです。ですから成道会はお釈迦様がお悟りを開かれたことと共に、この一步を踏み出されたことにあります。

法語

がくさん
嶽山白雲飛んで礙げなく

じもん
慈門広く開いて妙機頭わる

みつとう
蜜湯を献じ奉る清浄の處

そうそん
双尊の遺徳愈輝きを増す

解説

嶽山は總持寺のこと、

妙機は、すぐれた素質、能力、仏心
双尊は、瑩山禪師、峨山禪師のこと
總持寺上の広い青空に白い雲がなんの妨げなく自由に飛んで行くように
總持寺の山門はいつも開いていて誰でも自由に出入りしお参りすることができます。そんな清浄な境内で手を合わせ、あるいはその場にいるだけで、仏様、両禪師の慈しみの心をもって、各人に具わっている優れた素質（仏心）が現れます。両禪師の教えが増々輝くことを願い甘いお湯を献じます。

この法語は、東禅寺中野良教老師に添削して頂き完成しました。改めて深謝申し上げます。

蜜湯献じ。この器が大変重かった。



須弥壇を昇る。大祖堂の大きさがわかります。

人生、誰もが迷い、決心をし、一步を踏み出す場面があります。進学、就職、結婚、子育て、習い事、悩みを相談しようかすまいか、離婚等、常に迷いと決心と一步の連続です。一步一步の積み重ねです。最初の一步がなければ次の一步はありません。また、その一步は時に間違ふこともあるかもしれません。そのことに気づいたなら、引き返す一步を踏み出す勇氣も必要です。さらに、その一步を丁寧に歩むことが大切です。丁寧に一步一歩進めることを道元禪師様は、「只管打坐」と申されました。道将も僧侶となる大きな決心し一步を踏み出しました。私も師匠としての一步を踏み出しました。この初心を忘れずに、精進し歩んでいきたいと思ひます。皆様も新年の一步を踏み出し、よりよい一年となるよう共に歩みを重ねてまいりましょう。



得度式 僧侶となる儀式です。剃髪（髪の毛を剃る）をし、衣、お袈裟等を頂き、身も心も僧侶となつたことを自覚します。昨年十二月八日成道会にちなんで得度しました。まさに僧侶としての一步を踏み出しました。道将（どうしよう）といいます。よろしくお願いいたします。



↑ 60 年ほど前に静勝寺にいらして学生時代を過ごされた宮地氏三兄弟（残念ながらお一人は鬼籍に入られました）が久々にご来山なさり昔話に楽しい時間を過ごしました。



Instagram@jozanchudo
四季折々の境内の写真を載せています。



静勝寺ホームページ
<http://joshoji1486.sakura.ne.jp/>
坐禅会、写経会、うたの会の予定はこちらでご確認ください

編集後記 昨秋は本山焼香師、得度式等いろいろありました。弟子もでき、毎日が勉強の日々です。忠道

落語会

本年も、下町グリーサポート響和国主催の落語会がありました。立川談慶師匠と立川公四楼さんの落語を楽しみました。その模様がフジテレビニュース「イット」の中で放映されました。



今後の予定

- 元旦法要
- 1月1日（木）朝6時〜
- 亀ヶ池弁才天節分会
- 2月1日（日）午後3時〜
- 豆まき（予定）
- 春季彼岸会法要
- 3月20日（金・中日）
- 午前11時 お話と法要（予定）
- 土曜坐禅会毎月第一土曜
- 午後2時半〜4時半
- 定員50名（予約制）
- 1月は10日午後1時半
- 写経会 毎月第二土曜
- 午後2時半〜4時半
- 定員35名（予約制）
- 1月は17日
- うたの会毎月第四土曜
- 午後2時半〜4時
- 定員30名（予約制）
- 1月は31日

- 日曜坐禅会 毎週日曜朝6時〜6時45分
- 朝の会（読経と話） 毎週日曜6時45分〜7時半
- 坐禅会、朝の会ともに定員50名（予約制）
- ピアノ教室 ピアノを楽しみましょう。
- 体験レッスンあります。
- 予定が変更する場合があります。ホームページでの確認、あるいは電話でお問い合わせください。
- 施餓鬼会のお知らせ**
- 本年の施餓鬼会は、先の日程で行います。
- 6月7日（日）午後2時法話、3時法要
- ご予約のほど、お願いいたします。

令和八年年回表			
一周忌	令和7年	2025年	
三回忌	令和6年	2024年	
七回忌	令和2年	2020年	
十三回忌	平成26年	2014年	
十七回忌	平成22年	2010年	
廿三回忌	平成16年	2004年	燃
廿七回忌	平成12年	2000年	
卅三回忌	平成6年	1994年	
五十回忌	昭和52年	1977年	

お問い合わせ、お申し込みは
03-3900-4455 まで